

空間資源の見分け方を学ぶ

Learning the method of Finding the Spatial Resources



杉山集落：兜(かぶと)屋根



下三宮集落：おしくらまんじゅう



三津谷集落：レンガ色の輝き。



西原集落：水とともに生きる

「蔵」といっても、地域によって特徴が異なる

日本各地に見られる「蔵のまち」。

日本全国蔵図鑑。



黒い店蔵の連続

商売の中心地、川越。



長い屋根（ひさし）と廊下つきの蔵。

ゆき

雪が多いまち、山形。



石で積まれた蔵

川で荷物を運ぶ。

石のとれるまち、栃木。

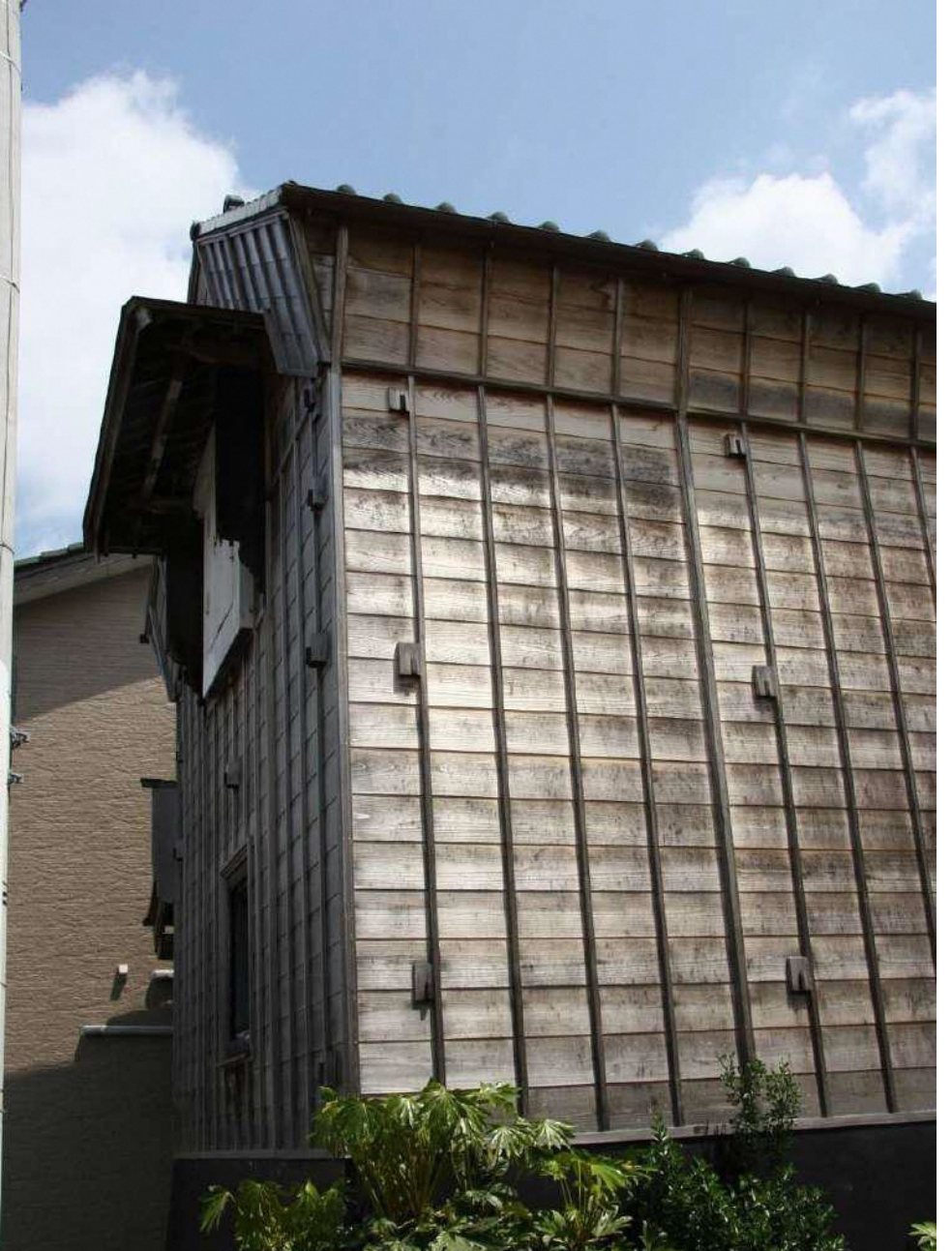


水切り瓦のついた蔵

大雨・台風から蔵を守る、土佐。



「なまこかべ」と「こて絵」の蔵
職人の技で飾る、長岡。



板が上までのびる蔵
潮風から蔵を守る、港町。

2. 資産の価値を活かす。

横浜の抱えてきた 「**三重苦**」 からの**復興**

- (1) **関東大震災** 【1923】 東京より大被害（16,000棟倒壊・焼失、**都心部の80%**が全潰。死者23,000名）。恐慌は、貿易・横浜産業経済に大打撃。
- (2) **横浜大空襲** 【1945】 市街地の多くが焼失。一部の鉄筋コンクリート建築物が残る。**関内牧場**と呼ばれる。
- (3) **米軍接收** 【1945~60】 **カマボコ兵舎**の存在。
(今でも接收地が残る横浜)

数少ない 「震災前」 建物。



設計：妻木頼黄

旧横浜正金銀行【現：神奈川県立歴史博物館】（1904）

赤レンガ倉庫(新港埠頭保税倉庫) 二号棟：1911,一号棟：1913



国施設→1992年、横浜市が取得していたが放置
→2002年、改修されてリ・オープン（設計：新居千秋）



汽車道 (港一號~三號橋梁)

横浜市歴史的認定建造物【1996-】



む望を内港りよドンラグーユニルテホ

横浜に通底する「源流」＝港町と産業

貿易と流通の窓口、日本の玄関である港町・横浜



初代横浜駅（現桜木町駅）



二代目横浜駅（現高島町駅付近）



自動車道



赤レンガ倉庫

生糸産業が創りだしたネットワークの中にあり、散在する横浜



旧帝蚕倉庫事務所ビル



第二合同庁舎（旧生糸検査場）



旧帝蚕倉庫（3棟解体、1棟復元）



シルクセンター